



碧南ロータリークラブ週報

第3106回例会 令和6年9月24日(火)

- 会長 鈴木 泰博
- 幹事 大竹 密貴
- 会場監督(SAA) 長田 康弘

2024-2025 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内
- 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 牧野勝俊・杉浦邦彦・岡本耕也



● 斉 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

● 本日のお弁当

人形町今半

● 本日のお客様

第 2760 地区ガバナー 吉川公章様 (名古屋南RC)
" 幹事 片桐 満様 (名古屋南RC)
刈谷RC 嶋津孝久君

歓迎の辞 及び 会長挨拶

改めまして皆様、こんにちは。

本日は吉川ガバナー、片桐様、わざわざ碧南までお越しいただきまして、ありがとうございます。ロータリークラブもこの頃は色々な新しい動きをしております。皆様ご承知だと思いますけれども、そういったことをガバナーから直接お聞きになるということで、今まで以上に新鮮に感じていただけるんじゃないかと思っておりますので、その辺、卓話でよろしくお願い致します。

さて、今年の夏はべらぼうに暑かったですよね。もう夏バテ寸前まで行っていた訳ですけども、お彼岸を過ぎまして、非常に爽やかな天候になってきました。爽やかな天候になると同時に実りの秋ということで、特に日本は農業国ですので、五穀豊穡ということで、各地で様々なお祭りが開催されます。碧南地区で大きいところは熊野神社さんですかね。

高浜で言いますと、お宮さんはいくつもあるんですけども、全部余興に「おまんこ」が入



水野輝久 高浜 RC 会長

っております。おまんを今やっているとところは東浦・大府・高浜・西尾の4地区になっている訳ですけども、コロナ禍で実はおまんが中止になりました。その時に3年間中止になったもんですから、馬と一緒に駆ける人たちが実はいなくなっちゃったんです。何故かという、中学3年生で高校に行って、「馬やろうかなあ。」と思っていた人が3年間いないと、もう大学生になっちゃうんですね。そうすると、とてもじゃないけど無理ですよという話になります。

再開した時は馬と一緒に走ってくれる人をどうやって探そうかということで、実に大変だったんです。それと同時に怪我をされちゃいけないということで、色々な工夫をしたんですが、残念ながら怪我人が出ました。その時の状況によっては、ひよっとしたらその後おまんができなくなるかなあと思ったんですけども、それも何とか本人の色々な努力もあったんでしょうけれども、回復してやっておまんができるようになったと思ったら、去年SNSで人が馬のお尻を蹴ったというようなことがありまして、炎上しました。私はその場にいましたからわかっているんですけども、蹴っていないです。高浜出身の獣医さんで、東京の大学の教授の方が2日間付きっきりでいてくれるということで、そういう馬に対する配慮はしているはずなんです。今年もそうですけれども、先日、その方たちに馬はこういうふうに扱ってくださったという話がありまして、獣医の先生がお二人付いてくれます。人間の熱中症にはあまり気を付けないんですけども、馬の熱中症には気を付けろということで、馬を繋ぐ場所も変更して、色々工夫をして何とかまとめようという状況になっております。

このように私たちの身近な状況でさえ、コロナ禍以降、色々なことが変わりつつあります。当然のようにロータリークラブも皆さんには目に見えないかもしれませんが、様々な形で変化をしております。そういったことを含めまして、吉川ガバナーには卓話をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。これで会長挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 14 名の内出席者 9 名) 出席者 47 名	
出席対象者 47/55 名	出席率 85.45%
欠席者 13 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

鈴木 泰博君 } 吉川公章ガバナー、片桐満地区幹事のご来訪を心より歓迎いたします。本
杉浦 秀延君 } 日はどうぞよろしくお願ひいたします。
大竹 密貴君 }

ガバナー公式訪問

第 2760 地区ガバナー 吉川公章様



吉川公章様

皆さん、改めまして、こんにちは。

本日は高浜 RC の水野会長をはじめ、皆さん方にこのような素晴らしい合同例会をご設営いただきまして、本当にありがとうございます。心から温かく迎えていただき、感謝しております。それでは少しスピーチをさせていただきます。

ロータリーのガバナーの役割については、皆さん既にご存知だと思いますけれども、RI のアーチック会長のお話を直接各クラブの会員一人一人にお伝えするというのが最も大事な役割でございます。また、地区の代表という役割もさせていただいております。

皆さんは既にご覧になられたかもしれませんが、アーチックさんが「The Magic of Rotary」というテーマを発表した国際協議会のビデオのショートバージョンの映像を改めてご覧いただければと思います。

このビデオでアーチックさんは自身の体験を通じて、ロータリーの魔法がいかにかに人々の人生を変えるかを語っております。特に 40 年前に女性がロータリーに入会できるようになってから、彼女自身もロータリーの素晴らしさに魅了され、生涯をロータリーに捧げる決意をしたと仰っておられます。もちろん、ロータリーの魔法は多くのインパクトをもたらすためにクラブ内での寄付やポリオ撲滅への貢献、そして、継続的な奉仕活動によって実現されると思います。

会長のイニシアチブとして、4 つの項目を掲げておられます。最優先課題はロータリー全体での会員増強であります。これまでのロータリーの役員は 1 年任期で、来年は退任という形でしたが、今後は 3 年先を見据えた計画的な取り組みを求められております。いわゆる「ローリングプラン」として、毎年 3 年間の目標を設定し、計画を進めていくことが重要であります。また、ロータリーを魅力的なものにすることで、ロータリーの行動計画や強さを維持していくことが求められております。ロータリーはもともと平和を基盤に作られた団体です。現在も世界各地での戦争や紛争が報道されている中、分断された世界を癒すために何かをしなければならぬと強く主張されておられます。さらにこれらの活動は継続的に取り組むことが重要であります。前任者や後任者が取り組んできたクラブの伝統を大切にしつつ、継続性と変化のバランスを取りながら活動していくことが求められております。

こちらのグラフは、当地区のロータリーの会員数の推移を示しております。横軸は月を表しており、上の緑の線から順に 2020 年、2021 年、2022 年、2023 年、2024 年となっております。当地区は日本一の会員数を誇る地区でしたが、コロナの影響で大きく減少してしまいました。コロナ禍で集まるのが難しく、会員数の減少はやむを得なかったかもしれませんが、コロナが明けて再び集まれるようになっても、減少傾向が続いております。今年度の 6 月末時点では 4,563 人でスタートし、ローターアクターは 145 人でした。これは東京の 2750 地区に次ぐ 2 番目の数字となってしまいました。しかし、7 月に 84 名の新会員が加わり、再び

1 位に戻ったのではないかと思います。ロータリー全体でも、かつては 120 万人の会員がおりましたが、現在は 113 万人まで減少しております。日本では 8 万 2 千人くらいと大きな変化はありませんが、やはり会員増強は重要な課題であります。

2024-2025 年度の当地区は「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー～行動計画 4 つの優先事項にそって戦略計画を～」という方針を掲げさせていただきました。皆さんもご存知の通り、社会は大きく変わっております。私は病院経営をしておりますが、人手不足が深刻化しております。これは当院だけでなく、皆さんの企業でも同様ではないでしょうか。働く人の数が激減しており、2040 年にはさらに深刻化すると予想されております。こうした中で、企業もロータリーも変革が必要です。ロータリーは 120 年前にポール・ハリスが 4 人の職業人で始めたクラブであり、その基本的な理念は変わっておりません。しかし、社会の変化に適応し、組織としても変わっていかなければなりません。

アーチックさんは「誰が見ても魅力的なクラブ」にするために「Simply Irresistible」と「Inclusion と Belonging」の 2 つを強調されておられます。Simply Irresistible は直訳すると「あらがえない魅力」になりまして、クラブでの経験がとても魅力的で活気に満ちているため、人々がそこから離れられなくなるということを仰っておられます。「インクルージョンと帰属意識」に関しては、企業でも注目されている DEI の精神を取り入れ、他人に接する際にはロータリーの行動規範を守ることが重要ということをお仰りしております。

RI はこのビジョンを達成するために「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかかわりを促す」、「適応力を高める」という 4 つの優先事項に基づいた行動計画を提唱しております。これらの方針に基づき、各クラブで 3 年計画を立て、具体的な数値目標を設定することが求められております。これにより、計画的かつ持続的な活動が可能となります。また、この行動計画を推進するために各地区に「地区行動計画推進リーダー」を選出してしております。当地区では伊藤靖祐パストガバナーになっていただきました。各クラブでも行動計画推進リーダーを選出していただき、クラブ全体で行動計画を進めていただきたいと思います。

話がガラッと変わりますけれども、会員増強のための新たな方法として、法人会員や家族会員、衛星クラブなどの制度があります。これらを活用し、多様な人々が参加できるクラブづくりを進めていただきたいと思います。

先ほども申し上げましたが、ロータリーは平和構築を基盤とした団体であり、ポリオ撲滅などに取り組んでおります。皆さんのご寄付がガザ地区でのポリオ撲滅活動など、世界に大きなインパクトを与えていると思います。当地区でも青少年交換プログラムや RYLA セミナー、インターアクト、米山記念奨学事業など、平和構築のためのプログラムを積極的に行っております。これらの活動を通じて、未来のリーダーたちが世界で活躍してくれることを期待しております。

ロータリーは継続性が大切であり、ガバナー同士も連携しながら活動しております。11 月 9 日、10 日には地区大会が開催されます。ちょっと遠いですがけれども、1 日目は観光ホテル、2 日目は名古屋国際会議場にぜひお集りいただきたいと思います。また、来年の 5 月 10 日、11 日にはロータリーフードフェスティバルが久屋大通公園で開催されます。さらに 6 月 21

日から 25 日にカルガリーで国際大会が開催されます。遠方ではありますが、皆さんと一緒にカルガリーナイトを楽しむことができるのを心待ちにしております。

どうもご清聴ありがとうございました。

謝 辞

吉川ガバナー、片桐地区幹事、本日はお忙しい中、この地区までご来訪いただきありがとうございます。

今年の方針について、わかりやすくご説明いただき、より理解を深めれたと思っております。私たちは RI、地区の方針に沿った活動をしてまいりますので、今後ともご指導をよろしくお願ひ致します。

本日はありがとうございました。



鈴木泰博会長

次回例会案内

令和6年10月9日（水）17：30～

会場：碧南商工会議所

インフォーマルミーティング